

## 『報告事項』

定款第9条（事業報告及び決算）

本財団の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の資料を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告 (2)事業報告の附属明細 (3)貸借対照表 (4)損益計算書(正味財産増減計算書) (5)貸借対照表及び損益計算書の附属明細書 (6)財産目録

2. 前項の承認を受けた書類のうち、第(1)号、第(3)号、第(4)号及び第(6)号の書類については、定時評議委員会に提出し、第(1)号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

## 平成 27 年度 事業報告

### 1. 事業部門(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

当財団は、平成2年(1990)4月1日に(財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団として設立されて以来、本年で26年を迎えました。これまでは、本格的な高齢社会の到来を控え、また国民のニーズの高度化、多様化に対応し良質の医療を効率的に提供するためのシステムづくりが重要なことから、在宅でも医療が出来る環境の整備を図り、医療供給を施設中心から在宅中心へと転換する観点で、在宅ケアを推進していくために研究や事業助成を中心に助成事業に努めてまいりました。

これらの情報は、出版物「ふれあいの輪」やホームページ等で外部機関へ公開し、また、助成を必要としている諸団体・個人への情報提供及び調査・研究事業の分野においても、質・量の両面で調査研究の成果を関係諸団体に対し提供を行い、わが国の在宅推進の向上に寄与することで広く社会へ財団の社会的役割を発信しております。

国の財務省は「財政制度分科会」を開催し、社会保障制度の今後の改正案を提示し、75歳以上になると国庫負担の医療費・介護費が大きく増加になることから、団塊の世代が後期高齢者になり始める前の2020年までに給付と負担のバランスのとれた制度の構築を目指すとして、要支援1～要介護2までの軽度者に対するサービスの在り方・給付の見直し案を示しております。

更なる高齢化社会を迎えるに当たり、社会保障制度の仕組みを早急に取り組む必要性があり、特に在宅ケアに関しては、多様化するニーズをいち早く捉え国民の豊かさを充足させるための生活環境の整備が必要不可欠であります。そのために、官民の連携を下に一体となって、介護保険制度の充実から在宅に対する知識の共有と地域包括ケアシステムの構築が必要となるものと判断いたします。

当財団としても、それらの役割を共有して在宅ケアに対するあらゆる分野から双方向の視点での役割を担うことで社会貢献を目指してまいります。

医療、看護、介護の専門職がチームアプローチを行い、利用者の自立支援に役立てることができれば幸甚に思う次第であります。

今年度の事業報告については、以下の通りご報告いたします。

## [1]公益目的事業

### イ. 研究・調査・助成事業 (公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業)

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであり、基本的には、在宅での医療機器、福祉用具を使用しての研究及び事業であります。

### 1) 研究・事業助成事業

#### ●1. 平成 27 年度選考委員会(第 1 回)

日 時	平成 27 年 3 月 16 日〔月〕 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 43F コメット
出席者	(選考委員)北條 慶一 ・ 千野 直一 ・ 堀 勝洋 内田 恵美子 ・ 丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 永田勝則 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、小宅常務理事
議 題	平成 27 年度助成金募集要項について他

#### ●2. 平成 27 年度選考委員会(第 2 回)

日 時	平成 27 年 5 月 22 日〔水〕 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 47F あさひ
出席者	(選考委員)北條 慶一 ・ 千野 直一 ・ 堀 勝洋 内田 恵美子 ・ 丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 永田勝則 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、小宅常務理事
議 題	平成 27 年度研究・事業・ボランティア活動助成金採点結果 平成 27 年度研究・事業・ボランティア活動助成金決定

#### ●3. 平成 27 年度(研究助成・事業助成)募集カテゴリー

##### (1) 研究助成

○在宅ケアに関する総合的な視点から医療、看護、介護、福祉等の質の向上を目的とした取り組みに対し、保健・医療・介護・福祉等の施設の臨床や地域で従事している職員及び福祉機器・医療機器の事業者の個人研究者あるいは共同研究者を対象に、下記のカテゴリー毎に分類した内容をもって助成を行います。

- ①訪問看護・地域包括・在宅介護支援の拡大に関する研究
- ②介護保険制度及び医療保健制度における在宅医療に関する研究
- ③リハビリテーション活動や機器のに関する研究

- ④難病やがん末期患者及び精神障害者の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
- ⑤医療機関から在宅医療・看護総合連携に関する研究、福祉用具の活用に関する研究
- ⑥その他（医療行為の安全、海外のホームケア、震災後のケア）

## (2) 事業助成

○在宅ケアの推進を図る上で必要不可欠な事業の取組みに対し、医療、看護、介護、福祉等の施設の従事者や都道府県・市町村の福祉関係職員を対象に、下記のカテゴリ毎に分類した内容をもって助成を行います。

- ①在宅療養者への医療・看護介護サービス実施事業
- ②高齢者や障害者（児）の在宅ケア推進関連事業
- ③認知症、難病、がん末期患者、精神障害者等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業

## (3) ボランティア活動助成

○在宅ケアの推進に資する事を目的として、高齢者や障害者（児）等を支援するボランティア活動を行っている団体に、活動に関して生じる費用の助成を行います。

### ●4. 研究・事業助成採用について

実施時期	平成27年5月27日～平成28年3月31日		
募集期間	平成27年3月20日～平成27年4月30日		
応募総数	76件	採用件数：51件	助成金総額：12,275,860円
助成金累計総額	414,085,860円		

平成27年度〔第26回〕研究助成・事業助成採用者一覧※別紙資料〔1〕 一覧表 参照

## 2) 研究委託調査事業(学術奨励寄附金)

### ①研究・事業助成のフォローアップ研究

- ・研究委託者： 聖路加国際大学看護学部 教授 萱間真美
- ・研究期間：平成27年7月31日～平成28年3月31日
- ・目的：研究・事業助成の成果がどの程度、周知、活用されているか調査するために、今年度は研究・事業助成の第14回から第25回に対し調査を実施する。また、その結果を報告書に取り纏める。

### 3) 海外調査研究事業

#### ① 海外調査研修事業「タイ・バンコク」

- ・目的: 財団設立25周年を記念して、海外研修の実施「病院視察2カ所・ボランティア施設2カ所視察」
- ・期間: 平成27年11月18日(火)～11月22日(日)※4泊5日
- ・参加者: 選考委員 (北條慶一・千野直一・内田恵美子)  
顧問 (清水嘉与子)  
財団 (多田羅浩三・小宅比佐子・高巢勝則)  
前財団常務理事(江向洋子)

※研修報告書別紙資料参照 ※別紙資料[2]

### ロ. 教育研修事業〔公2: 在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育研究事業並びにセミナーを通じての啓発活動事業〕

#### 1) 福祉用具専門相談員指定講習会の実施

第一回: 福祉用具専門相談員講習会の開催〔27年度改正〕 6日間 50時間

日時: 平成27年6月4日〔木〕～6日〔土〕 3日間 前期集合研修  
平成27年6月11日〔木〕～13日〔土〕 3日間 後期集合研修  
場所: 新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」  
参加者: 21名

科目: 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割、介護保険制度に関する基礎知識、高齢者と介護・医療に関する基礎知識、個別の福祉用具に関する知識・技術、福祉用具に係わるサービスの仕組みと利用の支援に関する知識、福祉用具の利用の支援に関する総合演習

第二回: 福祉用具専門相談員講習会の開催〔27年度改正〕 6日間 50時間

日時: 平成28年3月15日(火)、16日(水)、17日(木)  
3月18日(金)、19日(土)、20日(日) 合計6日間  
場所: 新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」  
参加者: 28名

科目: 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割、介護保険制度に関する基礎知識、高齢者と介護・医療に関する基礎知識、個別の福祉用具に関する知識・技術、福祉用具に係わるサービスの仕組みと利用の支援に関する知識、福祉用具の利用の支援に関する総合演習

## 2) 福祉用具プランナー研修会の実施

### 第一回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成27年6月2日〔火〕～平成27年7月23日〔木〕 eラーニング期間

平成27年7月 2日〔木〕～ 4日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成27年7月23日〔木〕～25日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:日本社会事業大学 文京キャンパス「文京区小石川 5-10-12」

参加者:42名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具、最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 第二回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成27年8月3日〔火〕～平成27年10月1日〔木〕 eラーニング期間

平成27年 9月3日〔木〕～5日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成27年10月1日〔木〕～3日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:フランスベッド仙台ショールーム・「宮城県仙台市岩切」

参加者:40名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 第三回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成27年10月22日〔木〕～24日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成27年11月 5日〔木〕～ 7日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:西武学園医学技術専門学校「東京新宿校」

参加者:17名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

※義肢装具士専門学校の学生を対象としているため、eラーニングは座学にて受講している。

### 第四回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時:平成27年11月16日〔月〕～平成28年1月15日〔木〕 eラーニング期間

平成27年12月17日〔木〕～19日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成28年 1月21日〔木〕～23日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:株式会社ウイズ「大阪市西区立売堀 1-9-33」

参加者:33名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 3) 講演会等の実施

1. セミナー啓発研修会活動では、ホームケアを目指したテーマを取り上げ高齢者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立って情報提供を行い、又、それを支える専門職の方への現任教育として講演会等を実施しております。

#### 2. 研修会、講演会のテーマ

- ・介護保険制度改正情報と今、求める介護支援専門員の役割
- ・質の高い介護の提供ダイバーショナルセラピーの活用
- ・介護保険制度改正を踏まえ、医療と介護の連携
- ・新介護報酬で変わるサービスの内容～10年後の高齢者ケアの姿～

#### 3. 参加対象者「介護支援専門員・看護師・介護施設職員等」

#### 4. 全国20箇所での研修会開催 ※別紙資料[3] 一覧表参照

### 4) 秋季研修会の実施

テーマ:「2015年医療・介護従事者フォーラム in 名古屋」

:「医療・看護・介護の連携で地域社会での暮らしの支援」

:プログラム・「特別企画講演」●在宅ケアのはぐくむケア

～訪問看護と暮らしの保健室の取り組みから～

株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 代表 秋山 正子 氏

「基調講演」 ●新介護報酬で変わるサービス内容

～10年後の高齢者ケアの姿～

公益社団法人 長寿社会文化協会 常務理事 浅川 澄一 氏

「シンポジウム」

・在宅ケアにおける訪問医療の推進と役割

医療法人 あいち診療会 理事長 畑 恒土 氏

・医療と看護・介護の連携における実際の取り組み

一般財団法人名古屋医療サービス事業団 荒木 裕美 氏

・パネリスト 公益社団法人 長寿社会文化協会 常務理事 浅川 澄一 氏

:日時:平成27年10月18日(日)13:00～16:50

:会場:名古屋国際センター 別棟ホール

:主催:公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団法人

:協賛:フランスベッド株式会社 名古屋ブロック営業所

:参加者:128名 :参加費:無料

## ハ.支援助成事業[公3:在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこどもたち等への組織に対する支援助成事業]

### ①健康生きがい学会への助成支援事業

健康と安心、そして生きがいに充ちた高齢期を迎えることは万人の願いであり、全ての高齢者に健やかな老いを保障することは老人福祉の究極的な目的といえます。そこで、高齢者が健康で安心に加えて、生きがいのある人生を送るために、国、地域、社会、そして私達1人ひとりがどのように対応していくべき意を尽くしていくために「健康生きがい学会」が創設されています。このことは、高齢社会の発展と向上に寄与していくことに対し、支援助成を行ってまいります。

- ・ 健康生きがい学会第6回大会
- ・ 『生涯現役と健康生きがいづくり』
- ・ 日時:平成27年 11 月 21 日(土)、22日(日)
- ・ 場所:川崎医療福祉大学
- ・ 主催:健康生きがい学会
- ・ 共催:公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団
- ・ 〃 :公益財団法人フランスベッドメディカルホームケア研究助成財団
- ・ 参加者:350名
- ・ 参加費:無料

### ②難病こども支援全国ネットワークが主催する活動に対し後援し助成を行っている。

各種活動内容としては

- ・ 病気や障害のある子の家族を対象とした相談事業
- ・ 家族同士の交流の場を提供するサマーキャンプ事業
- ・ 親の会活動を支援する事業
- ・ 講演会、研修会など病気や障害のある子を理解するための事業
- ・ 社会教育・広報活動・ボランティア希望の方へ並びに活動支援事業

## [2]収益目的事業

[収1:在宅ケアに関連した、医療、介護、看護分野のニーズを捉え小冊子の発行事業]

1) 季刊誌「ふれあいの輪」を収益事業として、会計区分しております。

高齢者が安心して在宅生活を送り、住み慣れた我が家で最期を迎えることは、誰もが望むところである。そのためには社会資源を活用したネットワークの構築と情報の共有化が不可欠である。季刊誌「ふれあいの輪」の配布ターゲットは、医療、看護、介護を含む幅広い分野の皆様に配布を行っております。

- 1. 医療、看護、介護の専門分野の方に執筆をお願いして発行し、社会の動向を踏まえた最新情報を掲載し一般国民の皆様にも提供しております。
- 2. 1年4回の発行(夏、秋、冬、春)1回の発行部数12,650部

<p>No.177 (夏号) 2015.6.10</p>	<p>トップインタビュー: 日本が発見した「レビー小体型認知症」を、 日本が開発した「アリセプト」で治療する 横浜私立大学名誉教授 小 阪 憲 司 氏 特集: 地域包括ケアシステムのゆくえ 「医療から介護へ」「施設から地域へ」この二つが地域包括 ケアの大きな流れです 服部メディカル研究所 所長 服 部 万 里子 氏</p>
<p>No.178 (秋号) 2015.9.10</p>	<p>トップインタビュー: 子どもと大人と一緒に遊べる時空間を、この町 につくりたかった 「平野の町づくりを考える会」大阪市平野区・全興寺住職 川 口 良 仁 氏 新しいケアへの取り組み: 看護小規模多機能型居宅介護 医療ニーズの高い人の在宅を可能に 花織まちだ</p>
<p>No.179 (冬号) 2015.12.10</p>	<p><b>認知症特集</b> トップインタビュー: 認知症の進行を止めるため、治療薬や早期 診断技術の開発に挑む 国立長寿医療研究センター研究所長 柳 澤 勝 彦 氏 認知症ケア最前線:『在宅認知症者のステージごとの生活障害に 応じたケアガイド』を作成 千葉大学大学院教授諏訪さゆり氏 新しいケアへの取り組み: 忘れることを利用して介護する、これが 「引き算」方式です 認知症対応型デイサービス ズームアップひと: 認知症介護研究・研修センター上級研究員五島シズ氏</p>
<p>No.180 (春号) 2016.3.10</p>	<p><b>看取り特集</b> トップインタビュー: 日々生き生きと暮らした最期にその人らしい 看取りがある 白十字訪問看護ステーション統括所長 秋山 正子 氏 医療最前線: 治すことを目的としない、高齢者に寄りそう医療が、 終末期には求められる 医療法人社団ナラティブホーム 新しいケアへの取り組み: 「看取り」の経験を踏むことが本物の介護 職を育てます グループホームいずみ ズームアップひと: ホームホスピス「かあさんの家」の開設者 市原美穂 氏</p>

- 3. 配布先については、購入事業者(フランスベッド㈱全国60箇所の営業所へ配布)を行い、各医療、看護、介護関連施設並びに一般の方々へ配布を行っております。



## 2. 管理部門

平成27年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

### [1] 許認可事項

なし

### [2] 会議開催状況

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

#### (イ) 理事会

##### 第11回定時理事会(平成27年6月1日)

- 第1号議案 平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)  
事業報告及び決算承認の件
- 第2号議案 評議員の定時評議員の招集について
- 第3号議案 保有株式の権利行使について
- 第4号議案 平成27年度研究事業助成採用について

#### その他報告事項

- 東日本大震災義援金募金活動について
- 平成26年度事業報告書他内閣府提出について
- 平成27年度における役員(監事)の退任並びに就任(予定)について
- 平成27年度の理事会予定

##### 第12回定時理事会(平成27年10月28日)

#### 報告事項1

平成27年度上期事業報告並びに財務諸表報告について

#### 決議事項

- 第1号議案 公益目的事業の変更認定申請について

#### その他報告事項

1. 内閣府立入検査の実施について
2. 平成27年度(第26回)研究・事業ボランティア助成一覧表
3. 平成26年度内閣府提出資料
4. 平成27年度上期研修会(講演会)の実施報告

### 第13回定時理事会（平成28年2月5日）

- 第1号議案 平成28年度事業計画
- 第2号議案 平成28年度収支予算書
- 第3号議案 変更認定申請書

その他報告事項

資金調達及び設備投資の見込みについて

### (ロ)評議員会

#### 第8回定時評議員会（平成27年6月22日）

報告事項1. 平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）  
事業報告の報告

第1号議案 平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）  
計算書類等承認の件  
監事報告

第2号議案 任期満了に伴う評議員の選任の件

第3号議案 監事の選任の件

報告事項：  
① 平成27年度研究事業助成採用について  
② 保有株式の権利行使について（理事会の承認事項）  
③ 東日本大震災義援金募金活動について  
④ 平成25年年度事業報告書内閣府提出一部抜粋資料  
⑤ 平成27年度の評議員会予定

#### 第9回定時評議員会（平成28年2月26日）

- 第1号議案 平成28年度事業計画
- 第2号議案 平成28年度収支予算書
- 第3号議案 変更認定申請書

その他報告事項

資金調達及び設備投資の見込みについて

## (ハ)企画委員会

### 第1回 季刊誌「ふれあいの輪」秋号企画委員会(平成27年6月30日)

- イ) 第178号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

### 第2回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画委員会(平成27年9月17日)

- イ) 第179号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

### 第3回 季刊誌「ふれあいの輪」春号企画委員会(平成27年12月22日)

- イ) 第180号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

### 第4回 季刊誌「ふれあいの輪」検討委員会(平成28年1月14日)

- イ) 平成28年度事業計画の検討会

### 第5回 季刊誌「ふれあいの輪」夏号企画委員会(平成28年3月25日)

- イ) 第181号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

## (ニ)財団の実施する委託調査・研究のあり方に関する検討委員会

### 第1回 検討委員会(平成28年2月4日)

- イ) 介護・医療を取り巻く現状と課題
- ロ) 財団の実施する委託調査・研究のあり方に関する意見交換

### 第2回 検討委員会(平成28年2月24日)

- イ) 第1回の検討委員会議事録の報告
- ロ) 医療・介護を取り巻く現状と課題の整理

### 第3回 検討委員会(平成28年3月24日)

- イ) 第2回検討委員会の議事録の確認
- ロ) これまでの検討会における意見について
- ハ) 委託調査研究のテーマ・方法等について意見交換
- ニ) 今後の検討会について

## [3]内閣府提出資料

### (イ)事業報告等に係わる提出書

公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規程により提出。

- ・提出日:平成27年6月30日(火)
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:財産目録、役員等名簿、報酬等の支給の基準を記載した書類、計算書類等

(ロ)変更の届け

公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項に掲げる変更をしたので、同項の規程により提出。

- ・提出期日:平成27年9月30日(水)
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:変更の届け「理事、監事、評議員の氏名の変更」

1. 評議員の辞任(平成27年6月22日付)

氏名	摘要
猪又 肇	公益社団法人明治安田厚生事業団 理事長
中村 秀	損保ジャパン日本興和ホールディングス(株)新規開発部長
藤本 典士	三井住友海上火災保険(株) 傷害長期保険部長
柳川 南平	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 常務執行役員
<b>(4名の辞任)</b>	

2. 評議員の選任(平成27年6月22日付)

(評議員就任)

氏名	摘要
河村 雅直	明治安田生命保険相互会社 理事 総合法人業務部長
沼田 俊彦	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 商品企画部長
長谷川 完	損保ジャパン日本興和ホールディングス 理事 新規開発部長
<b>(評議員) 3名</b>	

3. 監事の辞任(平成27年6月22日付)

氏名	摘要
小川 太一	東京海上日動火災保険株式会社 金融法人部部長
<b>監事 (1名)</b>	

4. 監事の選任(平成27年6月22日付)

(監事就任)

氏名	摘要
中尾 誠樹	東京海上日動火災保険株式会社 金融法人部部長
<b>監事 (1名)</b>	

### (ハ) 変更認定申請書の提出

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第11条第1項に規定する変更の認定を受けたいので、同条第2項の規定により申請

- ・提出月日:平成28年4月28日
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:変更認定に定める書類の提出(事業の一覧・個別の事業の内容等)

## 3. その他報告事項

### [1] 内閣府立ち入り検査実施

- 検査実施日時平成27年8月26日(水) 午前10時から午後4時まで
- 検査項目:別紙明細「別紙資料[4]」

### [2] 東日本大震災義援金募金額の寄付金贈呈

※(管理口座名義:公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団  
東日本大震災義援金口にて別会計口座の管理)

(単位:円)

寄付金先	寄付額	備考
岩手県介護支援専門員協会	350,000	3月14日寄付金贈呈式
福島県介護支援専門員協会	350,000	3月22日寄付金贈呈式
一般社団法人日本社会福祉士養成 校協会(災害福祉支援活動基礎研修)	450,000	3月28日寄付金振込
合計	1,150,000	
前期繰越額	1,155,678	
今期寄付金支払い	▲1,150,000	
振込手数料	▲2,592	
次期繰越額	3,086	